

# 新型コロナウイルス感染症対策下における 子どもたちの安全な居場所と学習環境の確保に関する要望書

令和2年4月8日

名古屋市長

河村 たかし 様

名古屋民主市会議員団

団長 加藤 一 登

先日、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、学校の臨時休校期間の延長が決定されましたが、これは、新学期から授業を再開するとしていた市の方針を急遽転換するものであり、学校現場や保護者に大きな混乱をもたらしました。あらかじめ市と県がしっかりと連携し、情報共有を行っていれば、避けることができた事態であり、残念でなりません。

感染拡大の収束が見通せず、物資不足が続くなど深刻な状況ではありますが、チルドレン・ファーストの視点から、子どもたちの安全と健康を第一に考えながら、子どもたちの安全な居場所を確保するとともに、安心して学ぶことができる環境を整えるため、当面の措置として、下記の事項を強く求めます。

## 記

- 1 感染症の拡大防止は、名古屋市と愛知県とが連携して取り組む必要があることから、学校の休業・再開についても、首長同士が十分な意思疎通を図り、県と緊密な情報交換を行い、子どもや保護者・学校現場に混乱をきたさないよう丁寧かつ速やかな情報提供に努めること。
- 2 休校中も名古屋市から要請を受けて開所している保育園、幼稚園（預かり保育）、トワイライトスクール・ルーム、学童保育所等、子ども・教育関連施設の継続的な運営のため、マスクや消毒液の配布など、本市独自の財政措置も含め、感染予防体制を早急に整えること。
- 3 現在休校中の学校、幼稚園等、子ども・教育関連施設の再開に向けて、マスクや消毒液の確保など、学校等における感染拡大防止のための環境を確実に整えること。
- 4 社会的な閉塞感が続く状況で児童虐待やDV被害の増加が懸念されるため、長期間を非日常的な状況で過ごす子ども及び保護者への影響について実態把握を行うとともに、心のケアなど必要な対策を講ずること。